

# 洛陽総合高等学校

京都市中京区



撮影：浅川 敏

建築主	設計者	施工者
学校法人洛陽総合学院	工藤和美+堀場弘, シーラカンスK&H・東洋大学/シーラカンスK&H・東京都市大学	大成建設株式会社

## 建て替え計画による敷地内外環境への配慮

建替えにより校舎をコンパクト化することで、敷地内外に新鮮な光と風を導く計画としている。芝生の憩いの場を設けるとともに、屋外の鉄部には溶融亜鉛メッキを施すことで周辺への印象を和らげ、周辺景観への配慮も行っている。



撮影：浅川 敏

## 学校と京都のアイデンティティを継承

裁縫学校として創立された学校の歴史を、織物をモチーフに、凹凸のあるコンクリートの外壁で表現している。フラットな仕上げとは少し異なる質感があり、大きな建物でありながら京都にふさわしい繊細なテクスチャーが京都の街になじむきっかけを与えている。



撮影：浅川 敏

## ルーバーや庇による日射遮蔽

ルーバーや庇、ペアガラス、全熱交換器などを採用することで熱取得の低減を図っている。目の細かいグレーチングのルーバーは小さいスケールの反復で構成され、教室を適切な視環境となるよう計画している。



撮影：浅川 敏

# 京都府南警察署

京都市南区



建築主	設計者	施工者
京都府警察	株式会社日本設計 関西支社	藤井・田中特定建設工事共同企業体

## 京町家の格子をイメージした、縦ルーバーと水平庇による日射抑制

日射抑制のため水平の庇と縦ルーバーを設け、日差しの移り変わりによって、多様な表情を持つ柔らかな外観を実現した。4階には複層ガラスと、外壁が外気と直接触れないように金属外装とコンクリート押し出し成形板を2重に施した高断熱化外壁を採用した。



## 京都産杉材の積極的利用と京都のイメージの創出

京都的な表情を持たせた屋根庇を十条通に設け、目線高さで優しい印象を与えるよう配慮した。また、京都産の杉材で垂木をイメージした軒裏を表現した。玄関ホールや会議室、事務室にも京都産杉を随所に利用することで、施設利用者の目に常に映る計画とした。



## 再生可能エネルギー利用施設の積極的利用と地域の伝統的産業の採用

太陽熱による給湯利用、太陽光発電利用、井水の便所洗浄水利用、雨水による植栽散水利用、雨水貯留による雨水のピーク時の排水抑制等に取り組んでいる。また、玄関には、仏具製造に代表される古来からの技術による地産品である「玄関扉安全柵」を設けている。

